

(履修単位)

科目名	情報処理実習Ⅱ	英語科目名	Information Processing Practice Ⅱ
開講年度・学期	平成28年度前期	対象学科・専攻・学年	物質工学科 4年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	1単位	単位種類	履修単位
担当教員	笠原雅人	居室(もしくは所属)	電電棟3階
電話	内線263	E-mail	kasahara@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業の到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE基準
プログラムの編集およびコンパイルと実行ができ、基本的な命令(入力出力・演算命令・条件分岐・繰り返し・配列)を用いたプログラムを作成できる。	⑤	C	C
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
中間試験、定期試験および適宜行う課題提出物によって評価する。			
評価方法			
主に中間試験、定期試験の平均点で評価する。			
授業内容		授業内容	
1. プログラムの編集およびコンパイル・実行			
2. 変数の使い方			
3. データの入出力 (scanf, printf)			
4. 四則演算 (+*/%)			
5. 論理演算 (< !)			
6. プログラムの分岐 (if)			
7. プログラムの分岐 (switch)			
8. 前期中間試験			
9. 繰り返し (do)			
10. 繰り返し (while)			
11. 繰り返し (for)			
12. 多重ループ (for など)			
13. 配列と for 文			
14. 配列の操作 (初期化, コピー, 演算)			
15. 多次元配列			
キーワード	プログラム, アルゴリズム, C 言語		
教科書	新版 明解 C 言語 入門編		
参考書	1. 石畑清「アルゴリズムとデータ構造」岩波書店 2. 奥村晴彦「C 言語による最新アルゴリズム事典」技術評論社 3. 林晴彦「C 言語による実用アルゴリズム入門」ソフトパブリッシング		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	情報処理実習Ⅰ		
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
例題の動作確認を確実にし、余裕があれば演習問題を理解し、試験に挑むこと。			
シラバス作成年月日	平成28年2月18日作成		

